
YUIが悪と闘ったら 怪しい集団編 2 7

pokemomtyan

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

YUIが悪と闘ったら 怪しい集団編27

【コード】

N5325U

【作者名】

pokemomtayan

【あらすじ】

感想を書いてね。YUIは温家宝と対決して決着がつく。

怪しい影(前書き)

感想を書いてね。

怪しい影

YUIを除くメンバー達は、ディズニーランドの中央広場に集まった。

神崎昂（YUIさん・大丈夫だろう菅？）

枝野（昂・もう、菅語が完全に伝染したな。もう突っ込む気にもなれんな泣。）

長谷川潤（ねえ・今回のシリーズが長すぎた原因って何なのよ。）
潤は目を手で塞いだ。

AKIRA（如何でも良いけれど・コイツ等の数は尋常では無いぞ・怒。）AKIRAは刀を抜いた。

向井理（さっきの岸谷と言い、北川と言い本当に厄介な奴等だぜ・怒。本当に景子ちゃんにはマジキレた怒。俺の好きな柚子胡椒をよくもあんな風に踏みつけやがって怒。ゴミ屑が！まあ、人間なんてゴミ屑だけどな笑ハハハハ。）向井は死んだ目をしながら、笑って煙草のマルボロのメンソールを吸い、煙を上げた。周囲にはあの軍勢が囲んでいた。

神崎昂（如何でも良いが、向井さん！アンタ性格悪いぞ怒！しかも、煙草の煙が僕に当たるだろう怒！僕に向けるな叫！良い加減にしゃがれ怒！）

菅直人（なあ！早いこと温家宝様を中国に返して！早く新しい新章に！突入しようぜ！マジ、鬼だりいし。ギガント献金もらいたいんですけど。）菅は両腕をぶらぶらさせながら言った。

神崎昂（お前も状況を把握しろ怒！1か月以上も長くなったのは、全とお前のせいだ怒！）神崎は怒りながら、近くのミッキーのブロンズ像を持ち上げて、菅の頭に叩きつけた。

菅（痛たか！ん泣！神崎怒！少しは手加減しろ怒！俺様は64歳だぞ！）

神崎昂（黙れ怒！大体、状況がややこしくなるのはお前のせいだ怒

！）神崎はその一言を言ったが、心の中ではまあ、この大量虐殺の事件は菅に濡れ衣を着せる為にぼくがしたんだがな主犯は僕だ！と叫びたかったが、その喜びや思いを堪えた。

石景山遊園地のキャラクター達（覚悟しやがれ！八つ裂きにしてやらあ怒！）石景山の奴等は武器を持っていた。

枝野（性懲りもなくきやがって・・・怒！私達は負けんぞ怒！来いやー叫！）枝野は槍を構えた。

向井（まあ・・・俺達はそんなに絆深くないけど笑。ってか、絆大事って昭和かよ笑。本当に笑えるなハハハハハ。向井はタバコを吸った。

長谷川潤（ちよっと！貴方、汚れ過ぎよ怒！柚子胡椒の件でそんなにひねくれないで怒！）

温家宝（キシシ。仲間割れの様だな。）何処からか、温家宝の声がした。

AKIRA（その声は・・・温家宝か怒！何処にいやがる！）

菅直人（こらー怒！AKIRA。温家宝様だ怒！訂正をしる叫！）

神崎昂（お前には何も突っ込まん・・・）神崎は無視した。

温家宝（キシシ。俺は此処だ。）長谷川潤の影が大きくなり、動き出した

長谷川潤（は！まさか・・・）潤は後ろを振り向いた。

温家宝（キシシ。俺のこの影の実の能力は、他人の影を移動するこことが出来るんだ笑。長谷川潤の影を切取ったぜキシシキシシ。）温家宝はハサミを出した。

長谷川潤（しまった！あ・・・）潤は意識を失い倒れた。

向井理（影を切りやがった！）

温家宝（キシシ。この影も食っておく菅 よし戦力アップだぜ。俺は誰にも頼らねえ。頼るのはこの影の能力だけだキシシキシシ。）

菅直人（うわあ！潤ちゃんが倒れた！うおー怒！貴様！潤ちゃんをよくも怒！俺様の足技を喰らえ！）菅は足を回し始めて、温家宝に向かって行った。

神崎昂（アイツ・・・こんな時にやる気出しやがった・・・呆。）

菅直人（喰らえ！熱の籠った熱い蹴りを怒！増税ジャンプ！）菅の蹴りは温家宝を蹴ったが、突き通って攻撃を与えることが出来なかった。

温家宝（キシシ！残念だったな笑。覇気がないお前には俺様は蹴れんぞ笑。）

向井（クソ・・・こんな時に、YUIは何処に言ったんだ叫！）

温家宝（ん？YUIならさっき、倒した・・・）温家宝が話している最中に石景山遊園地のキャラクター達が次から次に斬られていった。

AKIRA（凄い・・・俺の剣技よりも半端無い。）

YUI（温家宝怒・・・お前はなめた真似をしてくれたな叫！）

一同（YUIさん！無事だったんだ！）

温家宝（キシシ。まあ、あの位では死なんわな笑。喰らえ！尖閣諸島は俺様の国の物ブリックバッド！）

温家宝はマントから、コウモリをYUIに向けて攻撃させた。

YUI（くそ！コウモリが次から次に、噛みついてくる叫！）YUIは剣を振るい切り落としたが、足や手に噛みついてきた。

温家宝（油断したな笑。喰らえ！経済特区斬り！）温家宝はハサミでYUIを斬ろうとした。

枝野（YUIさん！危ないぞ！）

YUI（喰らうか叫！見聞色の覇気があるわ怒！喰らえ！ITSM YLIFE覇気砲！）YUIは刀を回転させて風力を溜めて、頭上の温家宝に向けて覇気砲を放ち、コウモリごと温家宝は飛ばされた。偽ミツキー（温家宝様が叫！）

温家宝（痛え・・・くそ怒！ナメ腐りやがって怒。俺様は中国の代表だぞ怒！俺様は神だ！）

YUI（お前を斬る覚悟しろ叫！）

菅（YUI）。温家宝様は斬ったりしないので泣。）

温家宝（必殺！中国大気汚染・・・ブリックボール！）温家宝は影

を千切って丸めて、YUIに向けて投げたが、YUIは避けた。

YUI（馬鹿か！避けられるわ怒！）

温家宝（キシシ・馬鹿め笑。此れだけでは無いワイ。）ボールが破裂して、黒い影が広がり影の中から手が伸び出し伸びて、YUIの足を掴んだ。

YUI（何なんだ此れは！）

温家宝（キシシ。此れは俺様の手だ笑。お前にはくたばってもらわず怒！喰らえ！一人っ子政策斬り！）

温家宝はハサミでYUIを斬ろうとしたが、YUIは刀でガードし両者は睨み合った。

YUI（ハアハア。強い・・・）

温家宝（キシシ。甘く見るなよ。お前の足元を良く見て見る。）YUIは足元を見た。

YUI（何だ此れは叫！私の足が、影の中に吸い込まれていく叫！）温家宝（キシシ。霸気を出せば、影の実の能力は此れくらい強くなるのだ叫！吸い込まれる！）

YUI（喰らうか怒！）YUIはすかさず、ポケットに入っていた護身用ナイフを取り出した。

YUI（喰らえ！チェリー突き叫！）YUIはナイフで温家宝の右足の太ももを刺した。

温家宝（ぎゃゝ痛えゝ！）温家宝は黒い悪魔の翼を広げて、空中を飛んで後ろに着地した。

YUI（この影も霸気の手でもがけば・・・よし逃げた！）

温家宝（なめやがって怒！喰らえ！反米斬り！）温家宝はハサミを上にあげて、YUIを斬ろうとした。

YUI（LIFE斬り！）両者は刃を混じり合わせたが、バランスを崩して転げて再び立ち上がり刃を向けて睨み合った。

温家宝（キシシ。小細工は必要ねえか笑。）

YUI（ハアハア。だが、次に小細工を使うんだ怒・・・）YUIの目には怒りで血柱が立っていた。

温家宝（キシシ。俺様が倒されるか。俺様は神だ！究極のドーピングを見せてやる！影の实の能力奥義中華、シャドーアスガルド叫！うおー叫！）温家宝は目を光らせた。すると驚く事になった。

YUI（な？影のある人達の体から、黒い物が抜けていく！）
向井理（しまった！俺の体からも叫！）

枝野（何なんだ此れは！）神崎昴は冷や汗を垂らしながら言った。

神崎昴（影だ・・アイツ・皆の影を集めている。）
偽ミッキー（うわ！意識が！）倒れた。

温家宝（うおー叫！此れが俺様の・・力だー叫！）温家宝の体に皆の影が吸い込まれた。

YUI（何て事に・・。）

温家宝（キシシ。俺様は巨大化したぜ。この影のパワー・・集めて5000の数の影のパワーだ！）

菅直人（あわわ・・倒せないぞ。）首は腰を抜いた。

YUI（体が大きくなるうが貴様を倒す叫！悪夢が見たきや勝手に見ている温家宝怒！）

温家宝（俺様は無敵だ！中国をアメリカに変わり世界の国家にし、日本や周辺のアジア諸国を植民地として俺様は覇を取る！喰らえYUI！中国の気候は地域によって様々な変化があるぞ蹴り！）

YUI（避けれるわ叫！喰らえ！HELLLO斬り！）YUIは温家宝の頭上まで飛び、頭を斬った。

温家宝（血が・・いつてえ！叫！）

YUI（更に喰らえ怒！RUIDD斬り叫！）YUIは温家宝の腸を斬った。腹から影が出てきた。

温家宝（おえ！くっそー・・年は取りたくないぜ。喰らえ！中華ブリックバッド叫！）コウモリで目くらましをした。

YUI（くそ！また、無数のコウモリが・・。）

温家宝（隙を見せたな笑。喰らえ！中国は日本の偽携帯電話の販売が盛んだパンチ！）YUIは頬を殴られて、弾き飛ばされた。

YUI（がはあ。血が。頭も打った痛い。）

温家宝（俺様も血が出てきたぜ。痛いえ。だが、此れで終わりだ。）
温家宝はYUIを囲むように円形の影を広がらせた。
枝野（しまった！YUIさんを囲む気だ叫！）

温家宝（喰らえ！中華ドツペルゲンガー叫！）YUIの周りに、無数の温家宝の影が広がった。

YUI（何とか立てたが・・・うわ！）影の1体がYUIを殴りつけた。

温家宝（キシシ。本物は何処かな？因みに、影に当たっても斬れんしどこっでっしょうね）

YUI（くそ・・・見えん。攻撃も喰らう・・・もう駄目か。）するとYUIの脳裏に幼き頃母に言われた言葉を思い出した。

母（人は目を見れば、真の姿を見れるよ。）

YUI（諦めるな・・・目を見れば考えている事が分かるし正体を掴める。）YUIは血だらけになりながら立ち上がった。

YUI（居た叫！目が笑い過ぎて泳いでいるのが本物だ叫！）

温家宝（しまった叫！バレタか？）

YUI（新曲奥義・・・）YUIは覇気を溜めた。

温家宝（影よ！攻撃を早くしろ叫！た・倒せー！）

YUI（喰らえ！必殺・・・！）

温家宝（斬るな！叫！）

YUI（YOU斬り！）YUIは刀をトライアングル状に振り回して最後は下から温家宝を斬った。

温家宝（ぎゃ〜覚えてやがれ〜叫！）温家宝は斬り飛ばされていった。

向井理&長谷川潤（YUIさんありがとう。影が戻っている！）

YUI（うわあ・・・長かったけど、終わった。）

完

怪しい影（後書き）

感想を書いてね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5325u/>

YUIが悪と闘ったら 怪しい集団編 27

2011年10月9日02時53分発行